3 診察・小児リハビリテーション

(1)診療所

こども未来センター診療所は、センター内における医療的な側面からの支援を行うのが主な業 務

です。診療所では、単に診療を行うだけではなく、本人の日常生活の充実や向上につなげていくことを主眼とした取り組みを行っています。

診療所内で、さまざまな小児リハビリテーション(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)や発達 検査などを行うだけでなく、センター内の関係部門や学校・幼稚園・保育所等と連携した、各種の 支援などにも力を入れ、センターの基本理念である「こども自身の自分らしい豊かな人生を実現す る」ことに向けた総合的な支援を目指しています。

増加する発達面での診察希望者に対応し、早期支援実現のために、令和3年4月より地域医療機関との連携を開始するとともに、診察申込には医療機関、健診担当医師、所属の学校園所のいずれかからの紹介を必要とする紹介制を導入しました。

取り組み内容	概要	利用実統	責(前年度)
診察 (小児科·整形外科·児童精神科)	18 歳までの身体・知的・発達に関する診療を行います。	利用者数延利用件数	2,944 人 (2,952 人) 6,438 件 (6,780 件)
小児リハビリテーション (理学療法・作業療法・ 言語聴覚療法)	医師の処方に基づき、各種の小児リハビリ テーションを実施します。	延利用件数	12,473 件 (13,758 件)
心理療法·発達検査	医師の処方に基づき、心理士がカウンセリ ングや発達検査を行います。	延利用件数	905 件 (907 件)
わかば園園児の健康管理・療育支 援	わかば園(通園療育部門)園児の健康管 理のほか、療育支援を行います。		
各種の技術指導等 (障害児等療育支援事業)	必要に応じて、利用者や学校園等に対す る技術指導などを行います。		
関係医療機関との連携	市内で発達障害専門診療を行う医療機関 (Aチーム)、および発達障害の相談・助言が 可能な一般小児科(Bチーム)との連携を中 心に紹介等を行います。		

①**診察実績** (単位:人)

		H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
外来	診療者数	2,115	2,685	2,931	3,037	2,980	2,952	2,944
	外来初診者数	650	789	607	537	445	386	421
	外来再診者数	1,465	1,896	2,324	2,500	2,535	2,566	2,523

②初診者数の状況 (単位:人)

		H29	H30	R1	R2	R3	R4
初診数		789	607	537	445	386	421
運動発	達障害(①+②)	76	71	78	52	43	41
	①脳性麻痺	6	6	5	2	1	2
	うち低体重出生(内数)	(3)	(2)	(2)	(1)	(0)	(1)
	②その他の運動障害	70	65	73	50	42	39
	うち低体重出生(内数)	(11)	(16)	(9)	(11)	(4)	(11)
精神発	達障害(③+④+⑤)	535	418	356	341	279	335
	③知的障害	91	52	43	71	39	39
	④自閉性障害	334	262	228	242	203	243
	⑤LD/ADHD 等	110	104	85	28	37	53
言語性	発達遅滞	114	82	75	29	38	25
その他		64	36	28	23	26	20

<年齢別内訳>

(単位:人)

<紹介元内訳>

(単位:人)

	H30	R1	R2	R3	R4	
0 歳代	27	32	26	17	14	
1歳代	47	38	20	23	25	
2歳代	74	67	51	55	36	
3 歳代	79	70	62	64	64	
4歳代	51	51	72	55	61	
5 歳代	50	47	39	32	34	
6 歳代	39	33	36	28	24	
7歳代	47	40	35	29	37	
8 歳代	50	36	39	16	29	
9 歳代	37	24	16	24	22	
10 歳代	34	22	21	14	20	
11 歳代	23	25	15	11	20	
12 歳代	11	18	8	6	13	
13 歳代	19	15	3	4	9	
14 歳代	16	13	2	3	9	
15 歳代	2	4	0	1	3	
16 歳代	0	2	0	4	1	
17 歳代	1	0	0	0	0	
18 歳代	0	0	0	0	0	
計	607	537	445	386	421	

紹介元	H30	R1	R2	R3	R4
保健福祉センター (地域保健)	130	131	81	63	68
医療機関(病院·開 業医)	87	61	89	131	138
紹介以外(利用者 関係·直接)	140	156	122	74	0
療育機関 (転入ケース含む)	25	15	14	12	16
小学校•中学校	101	74	66	53	130
幼稚園•保育所	59	59	55	42	69
子ども家庭センター	8	6	2	1	-
市役所	13	8	6	1	-
子育て総合センター	9	12	2	7	-
総合教育センター	3	0	0	1	=
その他	32	15	8	1	-
計	607	537	445	386	421
R34目から診察由	し込みが	紹介制と	- tan	医療機関	到

- ・R3.4 月から診察申し込みが紹介制となり、医療機関、乳幼児健診担当医師、所属学校園所のいずれかの紹介が必要となりました。
- ・R3 年度の初診の約 2/3 が R2 年度中の申込のため、R3 年度は紹介制と紹介制以前の申し込みが混在しています。

③リハビリ(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)利用者数推移

(単位:人)

めりハビリ	(理子	- 「	"TF未i	京冮"	百亩极	見豫江	ミノ イリ /	刊白勁	(打压199					(単似:	八)	
		H30			R1 R2						R3		R4			
	PT	ОТ	ST	PT	ОТ	ST	PT	ОТ	ST	PT	ОТ	ST	PT	ОТ	ST	
脳性麻痺	109	73	44	99	78	46	87	67	44	84	62	44	82	54	42	
中枢神経疾患 後遺症	19	5	10	19	4	10	17	5	7	17	3	5	14	3	7	
先天性脳形成 不全	5	4	3	4	3	4	2	2	4	2	2	4	3	2	3	
難治性てんか ん	4	3	3	6	4	1	5	2	0	6	2	2	8	2	2	
染色体遺伝子 疾患	63	51	57	59	56	63	55	51	61	50	48	55	55	45	56	
神経筋疾患	9	8	2	8	9	3	9	8	3	8	8	3	10	6	3	
筋•骨格•運動 器疾患	10	8	1	13	7	1	10	7	2	15	7	2	12	7	2	
精神運動発達 遅滞	16	23	19	12	22	17	11	18	17	10	21	17	9	16	12	
運動発達遅滞	119	27	35	106	43	36	89	45	38	88	37	33	78	38	34	
その他の運動 障害	4	3	0	4	3	2	2	3	2	1	1	1	1	3	2	
協調運動障害	7	32	7	7	43	7	7	31	7	4	25	7	4	18	4	
自閉症スペクトラ ム障害(ASD)	9	535	614	9	553	597	5	486	555	4	496	557	4	487	554	
学習障害(L D)	1	28	22	1	35	19	1	26	20	0	20	16	0	21	16	
注意欠陥·多動性障害(ADH	0	36	21	0	45	21	0	51	18	0	46	16	0	55	12	
知的障害	2	83	129	4	101	118	3	87	112	2	77	121	2	71	115	
DAMP 症候群				0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
その他	18	39	177	27	48	180	34	48	144	24	47	152	13	39	108	
計	395	958	1,144	378	1,054	1,126	337	937	1,035	315	902	1,036	295	867	972	
·	1															

(2) 理学療法 (PT: Physical Therapy)

区分 対象

小児理学療法は、先天性または後天性の疾患や外傷などによって、運動発達の遅れや運動機能に 困難さがある子供に対し、運動機能の維持・改善を目的に、主に運動などの手段を用いて指導、援助を行います。運動機能の改善や生活環境への支援を行うことで、日常生活活動(ADL)の改善を図り、生活の質(QOL)の向上を目指します。

概要

利用実績(前年度)

2

0

13

1

0

0

1

13

0

0

巨刀			刈多	•						•	陇女						ጥሀፓ	力大小		十戌	,
理学療法	動発機能	経達の とに り児の	の遅れ 困難	京因で いや道 さがる 8歳る	重動ある	な日 供(c	常生 とその たり、	持っ 活の が か が し う に う に う に う に う に う に う に う に う に う	活動 [・] (i) が信でも心	性やI Eんて い身と	自立点	度の向 地域	可上に の中	こ取り で現れ	組み生や料	、子 子来		29 (31 延利 4,0	者数 5 人) 用件 45 件		
<pt外来実人< th=""><th>人数</th><th>(令</th><th>和 4</th><th>年月</th><th>₹)></th><th>></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>单位:</th><th>人)</th></pt外来実人<>	人数	(令	和 4	年月	₹)>	>														单位:	人)
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
年齢 診断名						.,			小 1	小 2	小 3	小 4	小 5	小 6	中 1	中 2	中 3	高 1	高 2	高 3	合計
	Ì	1	3	1	3	3	4	1	1	8	6	6	6	5	6	9	3	6	7	3	82
中枢神経疾患後遺症	Ź	0	0	0	0	0	3	2	1	0	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	14
先天性脳形成不 全	-	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
難治性てんかん	,	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	8
染色体遺伝子疾 患	Ę	1	6	4	6	7	3	2	2	4	4	4	0	3	5	0	1	1	1	1	55
神経筋疾患		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	1	2	2	0	0	0	10
筋•骨格•運動器 疾患	\$	0	0	0	0	4	0	2	2	0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	12
精神運動発達 滞	Ē	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	2	0	1	1	0	9
運動発達遅滞		2	15	11	15	9	8	6	3	3	2	1	2	0	1	0	0	0	0	0	78
その他の運動障 害	i	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
協調運動障害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	4
自閉症スペクトラ ム障害(ASD)	j	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4
学習障害(LD)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
注意欠陥・多動	性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<補装具・福祉用具(車いす、座位保持装置など)の製作支援・相談>

0 0

0

0

補装具・福祉用具を作製する際には、理学療法士が子供の特性等を配慮して製作支援、相談に応じています。

0 0

2 1

0

12

0

0

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製作支援•相談	107	144	131	112	123	79

障害(ADHD) 知的障害

DAMP 症候群

計

その他

0 0

(3) 作業療法 (OT: Occupational Therapy)

さまざまな作業活動(遊び、学習、日常の活動など)を用いて、生活動作、運動、学習、人と交流する力の発達を支援します。個別で行う作業療法のほかに、 $2\sim3$ 人で行う小集団の作業療法も実施しています。

	区分	対象	概要	利用実績(前年度)
			子供一人ひとりの状態に合わせた作業活動(遊び、学習、日常生活動作など)を用いて、成功体験を積み重ねながら、生活動作、運動、学習、人と交流する力の発達を支援します。	
	作業療法	運動、遊び、日常生活動作、学習、社会生活などで、発達のつまづきが生じている乳	◆遊び 感覚運動遊び(遊具など)、構成遊び(ブロック、パ ズルなど)、社会的遊び(ごっこ遊びなど)を通し て、運動・情緒・社会性の発達を支援します。 ◆学習	利用者数 867 人 (902 人) 延利用件数
		幼児から 18 歳ま での児童	▼予日 姿勢を保つ、道具を使う、複数の手順を組み立て るなどを通して、学習や学校生活の土台となる力を 育みます。◆日常生活動作 食事、排泄、着替え、入浴などの生活動作が、家	4,301 件 (4,665 件)
.mmmm			庭や学校園所で安定して行えるように支援しま す。	

<OT外来実人数(令和4年度)>

(単位:

年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
診断名								小	小	小	小	小	小	中	中	中	高	高	高	計
								1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
脳性麻痺	0	0	0	2	3	3	5	1	9	5	5	3	3	3	2	2	4	3	1	54
中枢神経疾患後遺症	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
先天性脳形成不全	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
難治性てんかん	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
染色体遺伝子疾患	0	1	0	0	7	3	4	2	5	5	7	2	2	3	1	1	2	0	0	45
神経筋疾患	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	6
筋·骨格·運動器疾患	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	7
精神運動発達遅滞	0	0	1	1	2	2	1	0	1	1	1	0	1	1	2	1	1	0	0	16
運動発達遅滞	0	0	0	1	3	5	11	8	4	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	38
その他の運動障害	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
協調運動障害	0	0	0	0	0	0	1	3	2	6	3	1	2	0	0	0	0	0	0	18
自閉症スペクトラム障	0	^	^	0	0.0	co	70	-0		4 -	0.4	00	10	1.0	- 4	0	4 4	7	4	407
害(ASD)	0	0	0	8	33	60	79	58	58	45	34	39	13	16	14	8	11	7	4	487
学習障害(LD)	0	0	0	0	0	0	1	2	4	3	3	2	1	2	2	0	1	0	0	21
注意欠陥·多動性障	0	^		_	0	4	_	c	_	10	_	4	0	0	0	_	4	4	^	
害(ADHD)	0	0	0	0	3	4	5	6	5	13	5	4	3	2	3	0	1	1	0	55
知的障害	0	0	0	1	5	6	24	10	6	7	3	5	1	0	1	0	1	1	0	71
DAMP 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	2	1	6	6	6	3	2	2	3	3	1	1	2	1	0	0	39
計	0	1	2	15	59	91	139	99	98	92	64	62	31	31	28	14	24	12	5	867

(4) 言語聴覚療法 (ST: Speech-Language-Hearing Therapy)

言語聴覚療法とは、発声発語機能、言語機能、聴覚機能、高次脳機能、摂食・嚥下機能、コミュニケーション機能に障害のある人などに対して、言語聴覚士が検査、訓練および助言、指導その他の援助などの専門的関わりによって、対象者の機能の獲得や維持・向上を図り、生活の質の向上を支援します。

区分	対象	概要	利用実績(前年度)
言語聴覚 療法	音語 摂れあからで 下 悪 食 門 乳 8 歳 年 に 題 幼 歳 童 言・遅 の 児 ま	子供の発達段階に応じて、遊びを取り入れながら個々の目標とする課題に取り組み、保護者にもその目的を説明し、家庭での具体的な関わりにつながるよう指導します。また、センター内の他職種との連携だけでなく、必要に応じ保護者の承諾を得て子供が所属する関係機関の先生方とも連携をとりながら支援します。 ◆コミュニケーションの問題 個々の発達段階に応じた遊びを通して、コミュニケーションの力を身につけられるよう支援します。 ことばの理解を深め、人と相互にやりとりする力を身につけていけるよう支援します。 また保護者にも家庭での具体的なことばかけや対応方法について指導、支援します。 ◆摂食や嚥下の問題 摂食・嚥下機能を向上させることや、安全に効率よく食事ができることを目的に支援します。保護者に対しても適切な食形態や食事介助の方法を指導します。	利用者数 972 人 (1,036 人) 延利用件数 4,091 件 (4,548 件)

集団 言語療法

学齢児

小集団の中で友達との関わり方や、集団生活に必要なコミュニケーションスキルの学習を促します。友達とのやりとりの経験を積み、自信をつけ集団生活につなげます。

また、保護者にも支援方法を伝え、社会生活に活かしていけるように学校と連携をはかります。

1 グループ(1 グループ) 計 4 名(4 名) 延 11 回(11 回)

<ST外来実人数(令和4年度)>

(単位:人)

(795件)

			,																	·
年齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
診断名								小	小	小	小	小	小	中	中	中	高	高	高	計
1514171								1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	
脳性麻痺	0	0	0	0	3	1	4	1	5	7	4	2	3	3	1	1	5	2	0	42
中枢神経疾患後遺症	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	7
先天性脳形成不全	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
難治性てんかん	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
染色体遺伝子疾患	0	1	0	2	7	5	7	2	3	6	8	1	4	3	5	1	1	0	0	56
神経筋疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
筋·骨格·運動器疾患	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
精神運動発達遅滞	0	0	0	0	1	2	0	2	5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	12
運動発達遅滞	0	1	3	3	8	4	6	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34
その他の運動障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
協調運動障害	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
 自閉症スペクトラム障 害(ASD)	0	0	2	19	48	77	98	81	60	46	36	29	20	14	7	7	3	3	4	554
亏(A3D) 学習障害(LD)	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	1	4	2	2	0	0	0	0	1	16
注意欠陥•多動性障害		0	0	0	0	1	0	3	3	2	0	3	^		Δ	^	0	0	0	12
(ADHD)	0	0	U		0	1	U	3	3	7	0	3	0	0	0	0	0	U	0	12
知的障害	0	0	1	9	9	10	22	14	18	12	3	6	3	4	2	0	1	1	0	115
DAMP 症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	3	6	7	17	21	22	13	6	7	3	2	0	0	0	0	0	0	108
計	0	3	9	40	83	123	159	131	117	86	60	50	35	28	16	11	10	6	5	972

(5) 心理療法・発達検査

心理士が、臨床心理学にもとづく知識や技術を用いて、問題解決のサポートを行います。

生工が、 畑がんでき	子にひこ ノーハ明、八文川で川で 一、「川圏所パッケッハ	1.5111.4	9 0	
取り組み内容	概要	利用実績(前年度)		
心理療法	子供を対象として、「遊戯療法」「カウンセリング」を行い、 心の安定に努めています。 現在、新規ケースは受け付けておらず、継続ケースのみ 実施しています。	利用者数 延べ利用件数	12 人 (12 人) 89 件 (112 件)	
発達検査	子供の発達状況や発達のバランスを客観的に知るために 必要に応じて行います。診断の際に利用したり、今後の療 った針を立てる上でもの立てていきます。	利用者数 延べ利用件数	814 人 (793 人) 816 件	

<心理療法・発達検査実績>

(単位:件)

一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个						
	H29	H30	R1	R2	R3	R4
心理療法	305	245	180	69	112	89
発達検査	1,071	947	874	751	795	816

育方針を立てる上でも役立てていきます。

<一時預かり事業>

より集中しやすい環境で、こども未来センターを利用してもらうことを目的に、リハビリ・ 相談等対象児童のきょうだいの一時預かりを業務委託により行っています。

【対象】 生後8か月以上の就学前児童 【費用】 1時間300円

【委託先】 社会福祉法人 桜谷福祉会

	H30	R1	R2	R3	R4
新規登録者数	148 人	109 人	86 人	85 人	81 人
利用実績(キャンセルは含まない)	2,068 枠	1,838 枠	1,122 枠	1,077 枠	977 枠
60 分(1枠)	1,812 件	1,628 件	982 件	941 件	847 件
120 分(2 枠)	128 件	105 件	70 件	68 件	65 件
(参考)キャンセル数	456 件	418 件	263 件	240 件	282 件